

掛合自治振興会 便り & 交流センター

平成23年 第14号

5月号

がんばろう日本！がんばろう地域！ One For All, All For One

一人はみんなの為に、みんなは一人の為に

※ ラグビーの合言葉。「一人はみんなの為に、みんなは勝利の為に」の訳が元とか

「ふるさと交流塾」開校

五月十七日（火）第一回ふるさと交流塾（福祉部・生涯学習部共催）を開催しました。

音楽療法士の妹尾明香先生をお迎えして誰もが知っている童謡や懐かしい歌謡曲、唱歌まで幅広い歌や音楽に合わせて手や足を動かしたり、ボールを使ったり、ゲーム的な感覚で時間の経つのも忘れ楽しむ事ができました。



「うさぎとかめ」でゲー・チョキ・パー

先生は「音楽は心も体も豊かにしてくれ、笑う事はとても良い事」だと言われ、参加された方は「久しぶりに歌って楽しかった」「私の若い頃の曲ばかりで懐かしかった」とおっしゃっていました。
初めての試みでしたが、笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。



♪ トントントンカラリと隣組 ♪



トロンボーンに合わせて「ああ上野駅」

力士才藏さんと

相撲の町 掛合

郷土史家

岡田幸夫様

一、相撲発祥の地

出雲と相撲の由来

わが国の相撲発祥は日本書記によれば、大和時代、垂仁天皇七年七月七日たぎまのくさはや當麻蹴速と出雲の野見宿禰のみのすくねとで力比べをし、野見宿禰が勝ったのが始まりとされています。

のみのすくね野見宿禰とは出雲臣の祖であり、出雲国造の一族で飯南町上赤名に野見野と言う地名がある様にその地を支配していた豪族であった様で、正しくは「奴見、ヌミ」と呼びます。

平安時代の記録には、天平六年「七三四年」聖武天皇の宮中儀式に、相撲すまい節せつ会えがあります。

一番終わることに勝ち力士側の舞樂が

奏され、左右の近衛から出ている策刺かすさしという役員が、地上に矢を立て勝ちを明らかにする、これが後の弓取りの始まりです。

その頃は、土俵も行司も無く、天皇側近官吏が勝ち負けにかかわらず、扇を投げ与え褒美を授けたのですが、官吏の間でもめ、高倉天皇、承安四年「一一七四年」相撲節会すまいせつえは中止になりました。戦乱が治まると大阪、京都、を始め各地で勸進相撲が始まりました。勸進とは神社、仏閣の建立修築、橋の架け替え等の資金を集めるために寄進をすすめることです。

二、才藏さん出生の地 掛合での少年時代

才藏さんは今から三六六年前、寛永拾七年「一六四〇年」、当時須所村の一部、今の掛合町西谷、洞泉寺近くで惣右衛門の子としてうまれました。

日倉城主、多賀与四郎伊予守通定公ゆかりの寺であり、多賀さん直系である中野正蔵坊、西谷洞泉寺、掛合宗円寺、

これらが、地図上一直線に並ぶのも何かの縁と思われる。

才藏さんは故あつて幼い頃、掛合町上、塩ヶ平へ越してきました。子供時代はかなりの悪ガキで力持ちで、村中の評判であつたらしいです。

その頃のエピソードなのですが、近年水道が発達するまでは、どの家庭も近くの山に間歩まぶを堀り、その山の伏流水を竹桶で引き、飲料水の外、使い水としていました。その竹桶を才藏さんは手でつまんで割って歩いたらしいです。特に、旧平岩橋木造欄干には七、八本の竹桶が束ねて縛つてあつたのを、割って歩いたので、ついに見張り番が交代で立った…と言う話も残っています。

家の新築、増築、普請には才藏さんがいないと大きな材料や桁、梁等を掲げるのに困ると言われ、今で言う重機の代わりを務めていたと思われる、村役としては貴重な存在であつたと思われます。

又、才藏さんが残念に思うことは、一般村人が力自慢を認めてもらえないことでした。近くの庭木の立派な家を狙って

忍び込み、大事な庭木にぶら下がり枝へ裂け目を入れて歩いたらしいです。翌朝、大した雪でもないのに、立派な庭木が枝折れして、無残な有様を見て、村人はまた才藏の仕業と囁いていたそうです。そうしたいはずだが、毎日の様に続いた十六歳のある日、松江藩から相撲取組の呼び出しがあり、佐太神社御造宮勸進相撲の折、その当時天下無敵と恐れられていた「浦名」と言う江戸大相撲の力士を投げて、見事優勝してしまいました。

三、松江藩お抱え力士 江戸での才藏さん

このことが江戸大相撲の勸進元へ達し、松江藩お抱え力士と言う身分になり、松江藩箕島重太佐衛門の家臣となり、江戸へ赴き三野次八郎佐衛門の弟子に取り立てられました。現在の様な部屋制度は無く、各藩のお抱え力士と言う身分で年間二場所二十日の興業であつたらしいです。

その頃の川柳に「一年を二十日で暮らす よい男」と言うのが残っています。

しかし、才蔵さんは、江戸大相撲の取組みよりも藩主の身边護衛の方が頻繁で、幾度か藩主暗殺の危機を救っています。

富士川の川留め事件、桑名の渡し偽代官、大井川宿毒饅頭事件、等幾多の暗殺集団から身を賭しての護衛をおこないました。

また松江藩より呼び出しがあり、早駕籠にて七日で帰り、「丸山仁太夫と言う、大阪相撲の悪党が出雲あたりで暴れているのを抑えよ」との命にて、藩主の目の前で打ち負かし、日本中の話題となりました。その後八郎佐衛門より、「諸国相撲取りの中で才蔵に勝つ者はいない」と最高の名誉「日ノ下開山日ノ丸ノ締メ込ミ」を与えられた矢先、二十六歳の若さで病死してしまいました。（取材の結果では病死ではなく寛文の一大プロジェクトに関する暗殺であつたようです）

法名 釈強順不退位 寛文五年 乙巳歳 参月 貳拾貳日 寂

その後数多くの松江藩お抱え力士が

採用されていますが、本人だけでなく子・孫含めた一族迄藩の庇護を受け優遇され、破格の待遇で召し抱えられたのは、才蔵さんだけでした。

江戸へ出てから十年目、松江藩から内密に呼び返しがあり、久しぶりに掛合に帰る途中の梨ヶ峠（今の三刀屋町須所あたり）は、その頃は、かなりの難所でありました。

長旅の疲れと、あと少しで家族みんなの待つ我が家へ着く、と言う安堵から、土手に腰を下ろし、ついうとうとしてしまいかなりの時間が経ち、慌てて立ち上り傍らの小川へ行き、水を手で掬い飲みました。その時後ろをつけていた悪党達が流した毒薬を飲み、その場に倒れてしまいました。

夕方近く、地元の人達の助けにより、戸板に担がれ今の緑ヶ丘あたりで容態が変り、地元の名医（井筒屋さん、現在の本清水さんの先祖）の往診を受けたが遂に息を引き取りました。実は江戸を発つ時、かねてから事態を察知していた三野次八郎佐衛門さんは、「家に帰りつくま

では、道中、生水を絶対口にするな…」ときつく言われていたのに、我が家も近いし、遂気がゆるみ谷川の水を口にしたものと思われる。

四、百回忌追善大相撲 と掛合町の成り立ち

松江藩挙げての葬儀を済ませ、立派な自然石の墓碑を建立し、百回忌法要は掛合、専正寺にて地元関係者で行われその後、組内相計り追善大相撲をこの地で催す事を決め、早速郡役所へ差し出す事となります。

かくして松江藩より裁許状があり、村中挙げて相撲会場の準備が始まる事になりました。旧掛合保育所あたり、当時宗円寺の寺領の畑を借り上げ、急許相撲場・観覧場・桝席を兼ねた茶店を仕立て、箕の年の七月拾参日より五日間盛大に追善相撲興行が行われました。江戸大相撲の一行は、役付以下五十三人一切の経費は松江藩の勸進元で行われました。

それ以後、殆ど毎年のように大相撲が

当地で興業されました。昭和十年代までは毎年七月十三日から始まり、往年の名力士、双葉山、男女川、五つ海、神風、前田山等がまず野見宿禰の墓へ参り出雲大社外苑で五日間興業がありました。その後で掛合へ越し始めに才蔵さんの墓へ参り、石塔を押すと「向こう倍力」と言う相手の力が、全部自分に与えられるといった才蔵さん独特なる技（如意輪観音信仰の秘術といわれている）を持っていたといわれ、挙つてお参りのあと石塔を押したものでした。

このことにより相撲が盛んに行われ、「掛合町は相撲の町」と言われる由縁です。



才蔵さんの墓石（掛合町 専正寺）


雲南法人会 会報 うんなん 33号
寄稿文を掲載させて頂きました。



6月カレンダー



日	曜	自治振興会関連	教室・サークル	日	曜	自治振興会関連	教室・サークル
1	水		・サンサン教室・さざんかの会 ・さつきコーラス	17	金		・そろばん
2	木		・パソコン教室	18	土		
3	金		・そろばん	19	日		
4	土	・みらいスクール ・地域力向上フォーラム (チェリヴァホール)	・さつきコーラス	20	月		・ひばり会 ・そろばん
5	日			21	火		・習字教室
6	月		・ひばり会 ・そろばん	22	水		・手編み教室
7	火		・習字教室	23	木	・地区策定委員会(B)	
8	水		・手編み教室 ・さつきコーラス	24	金		・切り絵同好会 ・そろばん
9	木	・地区策定委員会(B)		25	土	・いきいきサロン	・トールペイント
10	金		・切り絵同好会 ・そろばん	26	日		
11	土	・いきいきサロン	・ガラスアート	27	月	・広報紙編集委員会	・そろばん
12	日	・環境美化活動 掛合上・佐中・掛合下一斉草刈	・雲南合唱フェスティバル (さつきコーラス)	28	火		・習字教室
13	月		・そろばん	29	水		
14	火		・習字教室	30	木		
15	水		・サンサン教室 ・さざんかの会				
16	木		・パソコン教室				

※  は休館日です。予定は変更されることがあります

掛合交番からのお知らせ

★相談窓口★

※警察総合相談電話

TEL #9110 又は
0852-31-9110
(24時間)

※悪徳商法110番

TEL 0852-27-4649
(平日8:30~17:15)

※「掛合広域交番」

TEL 0854-62-0110

※「雲南警察署」

TEL 0854-45-9110
(共に24時間)



皆様のご投稿をお待ちしています

新企画として、「おめでとうコーナー」「我が家のニューフェース」「地区の話題」「掛合の植物」(いずれも仮称)等の募集をいたします。

交流センターまでご連絡頂ければ、広報紙記者が、カメラを持って取材に行きます。



発行元：掛合自治振興会

TEL. FAX: 0854-62-0189

住所：島根県雲南市掛合町掛合2156-1

メールアドレス: kakeya-c@i-yume.ne.jp

(ブログ URL) <http://unnan43.blogspot.com>